

10・5-6法大集会報告

文化連盟が当局を圧倒！



10月6日、御用学者＝殺人者をキャンパスに入れて、闘う学生を排除する法大当局を通用門前で徹底追及



10月5日、十数人の弾圧職員と弾圧教授を前に、一歩も引かずキャンパスでの集会を貫徹

国際文化学部は申し入れ書に回答せず！ 学祭規制撤廃、処分阻止で集会打ち抜く

5日昼休み、「国際文化学部3年・武田君への処分阻止、学祭規制撤廃」を掲げて、武田君を先頭にキャンパス中央で集会を行いました。この日は文化連盟の仲間が国際文化学部提出した「武田君への処分警告文を撤回しろ」という申し入れへの回答期限日でした。これに対して国際文化学部窓口で回答を聞いたところ、「学部長からの回答は来ていない」とのこと。学部長は一切申し入れに回答する気はないということです。

武田君らはただちに門前からキャンパス中央に突入し、マイクを使って抗議の集会を行いました。集会圧殺のために出てきた十数人の弾圧職員・教授が、文化連盟の仲間を排除しようとしてきます。それに対し、「どういう理由で集会をやらせないのか、全学生の前で言ってみろ」と徹底追及すると

誰一人答えられない。結局、当局が言う「ルール」など学生に声を上げさせないための手前勝手な方便でしかありません。しかも暴力でしかなりたない。学生が団結して実力で踏み破ったときに、彼らの支配は崩れ去るのです。ビラ1枚まくことも禁止され、集会も禁止され、申し入れ書も握りつぶす。このような大学当局の腐りきった暗黒支配に学生が正義の怒りを爆発させ、実力でつぶすことはあまりにも当たり前のことです！なぜならキャンパスの主人公は学生だからです。

武田君ら文化連盟の仲間はキャンパス中央での集会をやりぬき、「学祭規制は撤廃できる！当局と闘い大学祭を学生の手に取り戻そう。学生の力で大学を仕切ろう」「処分阻止で学生は団結しよう」と渾身の訴えを行いました。

法大当局は学生の怒りに恐怖し、グラグラです。10・19法大デモでキャンパスの力関係を完全に引っくり返そう。学祭規制も処分も粉碎しよう！すべての法大生は文化連盟に結集しともに闘おう。

10・19 法大デモへ！！

法政大学市ヶ谷キャンパス正門前集合 12時40分～ 【主催】文化連盟、全学連

全学連

全日本学生自治会総連合(斎藤郁真委員長)

TEL 03-3651-4861 <http://www.zengakuren.jp/> mail_cn001@zengakuren.jp

御用学者講演会に徹底抗議 闘う学生を排除する法大当局

6日には文化連盟と全学連を先頭に、御用学者弾劾行動を行いました。この日、人間環境学部は「人間環境セミナー 健康に生きていくために」と称して、御用学者・大久保利晃(放影研理事長)の講演会を行いました。3・11以降福島県民に放射線被曝を強制して命と健康を破壊していながら「健康に影響ない」と大ウソをつき続け、避難や賠償権を徹底的に妨害している札付きの御用学者です。

門前で抗議行動の後、「御用学者に質問をしたい」と会場入り口に詰め寄った法大生に対して、法大当局は暴力的排除を行った。ここに法大当局の正体は完全に分らなくなった！ 一方では処分や規制に声を上げる文化連盟をキャンパスから排除し、他方では「科学」の名をかたった殺人者に講演させる、この腐敗しきった大学のあり方こそが原発事故を引き起こし、今も原発推進のためなら福島県民が死のうがしたことではないとしているのではないのか！



講演会の会場前に詰め寄り御用学者を弾劾

御用学者
大久保利晃



山下俊一と並ぶ福島
切り捨ての犯罪人

＊放射線影響研究所(放影研)理事長

＊元産業医科大学学長

＊郡山市原子力災害対策アドバイザー

私たち学生は、福島との連帯をかけて絶対にこの大学のあり方を変えよう！ キャンパスから立ち上がり原発をなくそう。

10・5-6の行動をもっと発展させ、10・19法大デモの大爆発を待ちとうろう。

勝利の展望は10・19法大デモー 11・4労働者集会にある

今、どういう時代でしょうか。全世界で労働者・学生が立ち上がっています。日本では、一方では再稼働阻止・全原発廃炉、オスプレイ配備阻止などの行動に毎週万単位の人が立ち上がり、他方ではJRの丸投げ外注化と偽装請負に対して動労千葉を先頭にストライキが激しく闘われ、青年の闘う労働組合への結集が始まっています。このような情勢の中、全国大学で最も激しい学生弾圧を行ってきた法大キャンパスにおいて、「不当処分阻止、学祭規制撤廃」で学生の怒りは燃え広がっています。

これらの闘いは、資本の利益＝金儲けのためなら何でも許されるという腐りきった新自由主義のあり方をひっくり返す闘いです。新自由主義は、労働組合や学生の団結を破壊することをとおして非正規雇用に突き落とし、大学を金儲けの手段に変え、教育も学生の誇りも滅茶苦茶に破壊しました。これまでも、今この瞬間にもどれだけの学生の未来が奪われているのか！

闘う労働組合と学生自治会運動を復権し、新自由主義のすべてをひっくり返そう。原発をなくしていく闘いの勝利はそれと一体です。

「闘う労働組合の復権」を掲げて行われる11月4日の労働者集会に集まろう。学生の未来は闘う労働組合との連帯の中にある。



JRでは外注化・偽装請負への総反乱が始まっている。動労千葉は10・1から2波のストに決起！

11・4全国労働者総決起集会

◆11月4日(日)正午～

◆東京・日比谷野外音楽堂にて

【主催】全日本建設運輸連帯労働組合・関西地区生コン支部、全国金属機械労働組合・港合同、国鉄千葉動力車労働組合、国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動

http://www.geocities.jp/nov_rally/

正門前でチケット販売しています！